

八戸聖ウルスラ学院高等学校

「青森を見つめなおす

～課題&魅力探検隊～」



平成30年度高校生模擬議会 八戸聖ウルスラ学院高等学校 平成31年2月5日(火)

1

青森を見つめなおす ～課題&魅力探検隊～

2

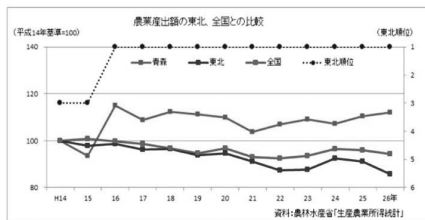
～青森県の課題～

八戸聖ウルスラ学院高等学校
1年3組

芦沢凜音 大浦ききょう 大澤美紅
大矢美咲 金瀬帆南

3

資料① 平成26年農業産出額



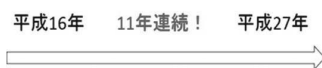
高校生から見た青森県とはどんな県でしょうか。自然が豊か、漁業が盛ん、祭りがたくさんあるなど、考えてみるとさまざまなことが挙げられます。その中でも特に印象的なものといえば、りんごやにんにく、ごぼうやお米など農業に関するものです。では青森県の農業とはどんな特徴をもつのでしょうか。こうして改めて考えてみると、育てているものは知っている、それを育てている人やその作物でどのように経済が回っているのかを、私たちは知りません。そこで私たちは青森県について調べ、その現状を知り、これからについて考えました。

(1) (2)

資料①をご覧ください。これは平成27年12月に農林水産省が公表した平成26年度農業産出額をグラフにまとめたものです。緑色が青森県、青色が東北地方、赤色が全国を表しています。(3)

4

・農業産出額
東北地方1位
(2879億円)



・伸び率
全国第2位
(12%)



この資料によると青森県の農業産出額は2,879億円で、平成16年以降11年連続で東北地方1位を維持しています。また、これについて平年並みの作柄であった平成14年と比較すると、全国順位は13位から8位に上昇し、伸び率は12%増えて第2位となっています。(4)

5

資料② 青森県内の作物 全国順位

■主要な農産物の全国地位

区分	順位	収穫量	全国シェア	備考
りんご	第1位	367,600t	56.1%	H23
にんにく	第1位	13,400t	68.0%	H22
ごぼう	第1位	52,700t	32.7%	H22
ながいも	第2位	58,600t	40.4%	H22
だいごん	第3位	125,900t	8.4%	H22
かぶ	第3位	8,280t	5.7%	H22
西洋なし	第4位	1,710t	6.4%	H23

出典：野菜生産出荷統計、果樹生産出荷統計

次に資料②をご覧ください。これは青森県で栽培されている主要な作物の全国順位についてまとめたものです。全国シェアが50%近い、またはそれ以上の作物、生産量が全国トップクラスの作物が多くみられます。中でもりんごやにんにく、ごぼうは全国第1位です。このように青森県の農業は生産額・生産量ともに、生産量及びシェア率そして全国順位でみたときに、ここ何年かで成長を遂げています。おおよそ数値は右肩上がりです。(5)

6

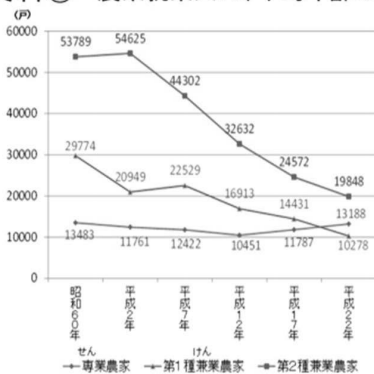
青森県の農業に問題点はあるの？



では青森県の農業に問題点はないのでしょうか。(6)

7

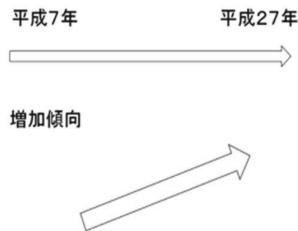
資料③ 農業就業人口、平均年齢の推移



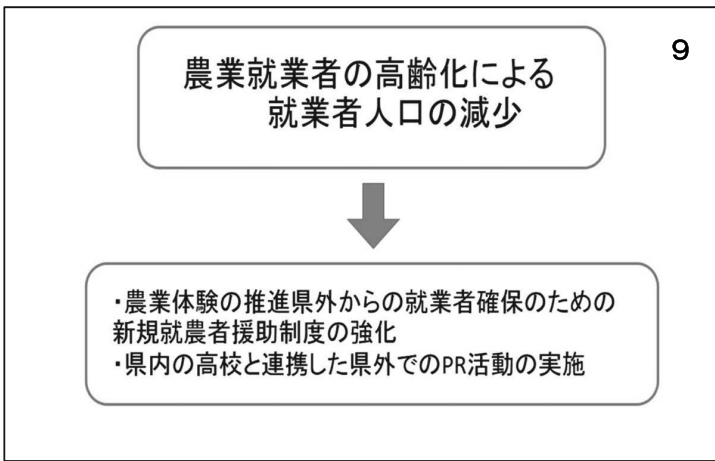
資料③をご覧ください。これは青森県の農業就業人口、そしてその平均年齢をグラフにまとめたものです。(7)

8

- ・農業就業人口 減少傾向にある
- ・就業者の平均年齢 増加傾向



この資料によると青森県の農業就業人口は平成7年から27年にかけて減少傾向にあるものの、就業者の平均年齢は上がっていることがわかります。(8)

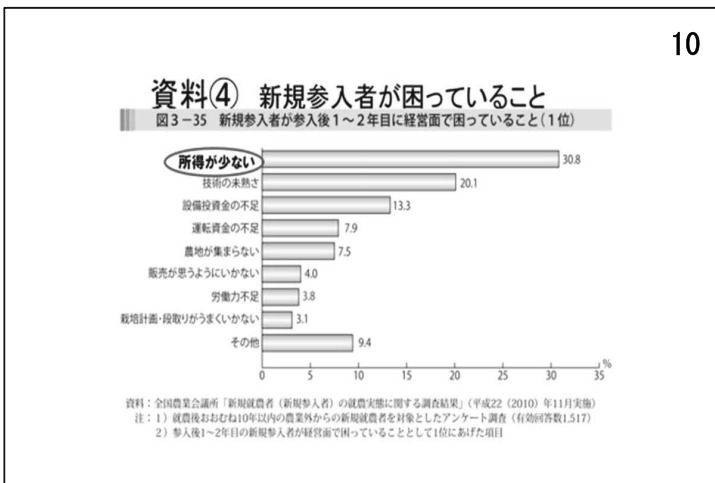


9

このことから私たちは青森県の農業の抱える問題点を、就業者人口の減少と平均年齢の増加と定義しました。では、就業者を増加させるためにはどうしたらよいでしょうか。私たちはその対策として次のようなものを考えました。

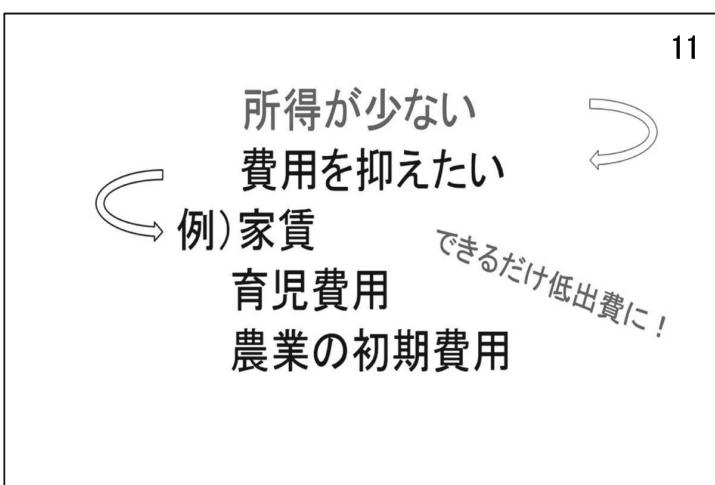
その1 就業者確保のための新規就労者支援制度の強化。

その2 県内の高校と連携した県外でのPR活動の実施。(9)



10

資料④をご覧ください。これは全国の新規農業参入者が1から2年目に経営面で困っていることについて調査したアンケートの結果です。最も多かった回答が「所得が少ない」であることが分かります。そこで私たちは農業を始めるにあたり、新規参入者が場所を選ぶときに魅力的に見てもらえる地域の条件を、アンケートの結果から逆順のように考えました。(10)



11

所得の少ない人はさまざまなことにかかるコストを抑えたいと考えます。さまざまなこととは、例えば農業経営の初期費用や生活費・育児費などです。このような人たちは生活するにあたってかかる費用や子どもがいる、もしくは出産を考えている場合、育児費用が安くすみ、農業経営の初期費用を低出費に抑えられる地域を魅力的に感じます。私たちはこれらの条件を揃えることができれば、必然的に青森県で農業をしたいと思う人が増え、農業従事者が増えると考えました。よってその条件を揃える策として、次のプランを提案します。(11)

1. 住宅の提供
2. 仮設児童館の設置
3. 耕作放棄地の活用

12

1つ目は青森県に移住し農業をしようと考えている人への住宅の提供です。現在、県内にある空き家や古民家を活用し、その住居を青森県で新規に農業をはじめようとしている人が希望した場合に提供します。また新規農業経営者が所得が安定するまでのサポートとして、新規農業者の入居可能なシェアハウスを建設します。

リビングやお手洗い・お風呂場等を共用とし、個人スペースも設けることで家賃の出費を抑えることができるほか、新規に農業をはじめた者同士で問題などを共用し、相談できるなどのメリットがあげられます。

2つ目は仮設児童館の設置です。農業が忙しくなる時期に対応し開かれる仮設児童館の設置により、農業と子育てを両立しやすい環境をつくります。そうすることで放課後の子どもたちの行き場を設け安心して農業に取り組めるほか、青森県での出産・育児を考えている人にとって魅力的な就農地となるのではないのでしょうか。

その3、耕作放棄地の活用。再利用の余地のある耕作放棄地を地元の方の協力を仰ぎ、整理する方法を指導してもらうようにします。耕作地を求める人に耕作放棄地を他の土地よりも安く提供することで、県内にある耕作放棄地の活用ができ、新規就農者にとっては農業の初期費用を安く抑えることができるのではないのでしょうか。(12)

また、こうした活動を行うだけでは十分ではありません。この活動を県外の人にも知ってもらうことで、県外からの就農者の確保にもつながると考えます。

そこで私たちが次に提案するのは県内の高校生と連携した県外でのPR活動の実施です。現在、私たちの高校では総合的な学習の時間を利用し、さまざまなテーマでのプレゼンテーション活動を行っています。このプレゼンテーション活動では自分の意見を他人に伝え、また、他人のプレゼンテーションを聞き理解することで互いのプレゼンテーション能力をアップさせることができます。こうした活動を他校にも広げ、私たち高校生がより広い視野で青森県の農業のこれからについて考え、プレゼンテーションを行うことで、互いのプレゼンテーションスキルの向上や、高校生の青森県の農業に対する興味・関心を掻き立てることが出来ます。そうして自分たちで選んだ代表校が県外で青森県農業のPR活動を行うことで、県外の人にも青森県の土地の農業をする場所としての魅力を知ってもらい、就農者を確保することができると考えます。

13

私達は青森県の魅力に気づいていない！？

八戸聖ウルスラ学院高等学校
1年4組

加藤春花 上村美唯菜 坂本優香
佐々木朋奏 佐々木凜音

青森県の農業は発展しているのか。従事者の減少という重大な問題を抱えていることが現状です。これまでの伝統を受け継ぎ、そして新たな伝統を築くためにも従事者減少の問題は、私たちが現在向かうべき問題であるとこの活動を通して思いました。

また、私たちは自分たちの住んでいる青森という県について、知っているようで知らないということもこの活動から得た1つの学びです。そこで新たに浮上したテーマが、青森県民の青森県に対する興味・関心の有無でした。(13)

14

青森の
豊かな作物
手本にし
君への想い
実れ私の

「青森の豊かな作物手本にし 実れ私の君への想い」、皆様はこの歌を聞いてどのようなものを考えましたか。(14)

- ・青森といえばで有名なりんご
- ・甘酸っぱい青春の風景

15

農作物が豊かで食べ物がおいしい

青森といえばで有名なりんごですか。それとも甘酸っぱい青春の風景ですか。私たちは、この歌に農作物が豊かで食べ物がおいしいという青森県の魅力が伝わればよいなという思いを込めました。(15)

先ほどの発表で青森県の農業についての課題を私たちなりに考えましたが、次は今ある青森県の魅力をどのようにして発信していくかに視点を移してお話させていただきます。私たちがこの歌に込めたような青森県の魅力のほかにも、まだまだたくさんの青森県の魅力はありますよね。例えば日本最長寿のソメイヨシノが弘前公園にあること、高さ日本一のレンガづくりの灯台があること、日本一のジャンボこけしがあること、日本一短い私鉄や国内唯一の階段国道があること、そして高さ日本一の立佞武多があること。一部のみをあげさせていただきましたが、このほかにもたくさんある青森県の魅力の中には、青森県民である私たちがさえ知らないものも多くありました。

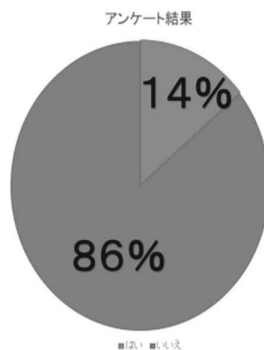


16

青森県の魅力10個を 他人へ説明できるか

17

→こんなにもたくさんの人が
魅力を説明できない！



このように今、青森県に住んでいる人、また住んでいない人は青森県の魅力を知らない、また知っていてもその知識は浅いという現状にあります。(16)

実際に高校1年生の青森県の魅力についての知識度はどれくらいなのかを知るために、私たちはアンケートを行いました。対象となったのは本校の高校1年生の生徒3ク

ラスの70名で、アンケートの内容は青森県の魅力を10個あげ、なおかつ他人へ説明することができるかというものでした。

結果はこちらになります。「はい」と答えた人は全体の14%、「いいえ」と答えた人は全体の86%となりました。こんなにもたくさんの生徒が魅力を説明できないというこの結果に、驚く方も多いのではないのでしょうか。

青森県に住んでいる私たち青森県民が青森県の魅力を知らないということは、青森県の魅力を県外へ発信できていないという原因にもなります。また青森県は本州の北に位置していることもあり、旅行に来るには遠いという人も多く、青森県のことを知りにくいということもあるかもしれません。(17)

青森の魅力を1番PRできるのは誰か！？ 青森の魅力発信コンテスト

《SNS》

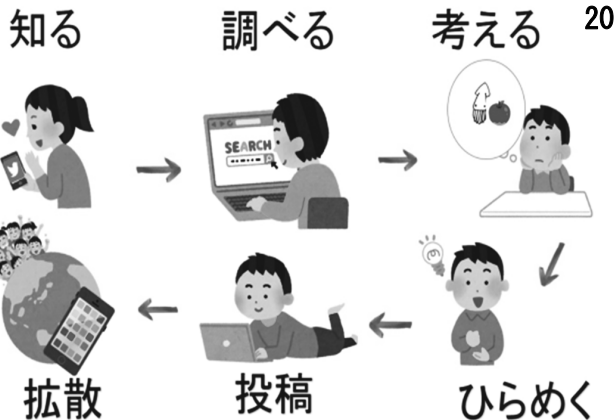
1. イラスト部門
2. キャッチフレーズ部門
3. ムービー部門
4. ポスター部門

このままでは私たちの素敵な県、青森県の魅力が伝わらないということで、私たちはこのような企画を作成しました。

ずばり、青森県の魅力を一番PRできるのは誰か、青森県の魅力発信コンテストです。これはSNS上、または、はがき上で行います。(18)

SNS上のコンテストでは、1. イラスト部門、2. キャッチフレーズ部門、3. ムービー部門、4. ポスター部門ごとに、青森県の魅力が他の人へ伝わるような作品を作っていただきます。(19)

ある人がこのコンテストを知り作品を投稿するまでの流れの例がこちらになります。まず、このコンテストの存在をインターネット上またはポスター上で知ります。次に作品を作成するために青森県のことについて調べます。このことにより自分自身も青森県のことについて知ることができます。次にたくさんある青森県の魅力の中から、自分の興味の引くものを選び作品を作成します。そして私たちが作成したコンテスト専用のアカウントのダイレクトメッセージを通し、でき上がった作品を送っていただきます。その後、私たちが一つひとつの作品に番号を付け、ハッシュタグとともに投稿します。そして、その投稿した作品を世界中の人に見てもらおうことで、青森県の魅力を知ってもらうことができます。また、その知った方々もコンテストに参加すれば、青森県の魅力がさらに拡散されることが期待されます。(20)



😊良い所😊

- ・簡単に参加できる
- ・青森県の魅力について調べ、知ってもらえる
- ・作品を見た全国の人にも魅力を知ってもらえる
- ・拡散力がある

SNS上のコンテストの良いところは、1. 誰でも簡単に参加ができること、2. 作品作成にあたり青森県の魅力について知ってもらえるということ、3. SNS上で作品を見た全国の人にも魅力を知ってもらえるということ、そして拡散力があることなどがあげられます。(21)

《はがき》

22

短歌・川柳部門

😊 良い所 😊

- ・ SNSをやっていない人でも
気軽に参加できる

次にはがき上のコンテストについて説明します。SNS上のコンテストだけでは、どうしても年齢層が偏ってしまうということで、こちらの部門も同時に行います。こちらでは青森県の魅力を短歌・川柳にまとめ、はがきに書き応募してもらいます。(22)

青森の
豊かな作物
手本にし
実れ私の
君への想い

23

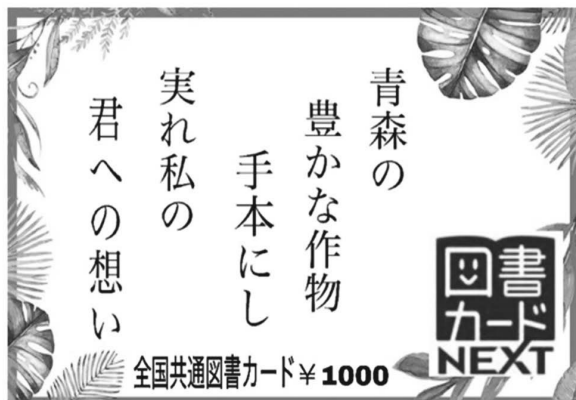
この一例としてはじめに「青森の豊かな作物手本にし 実れ私の君への想い」を紹介させていただきました。この歌のように青森県の魅力がギュッと詰まったような作品を自由につくってもらおうと思っています。このコンテストの応募の例として、はがきでは短歌・川柳、SNSではイラストなどをあげましたが、どちらで何を応募していただいても構いません。(23)

図書カードプレゼント



24

続いて、このコンテストの最優秀賞の決め方について説明します。投稿した作品の中から一般の方々に見てもらい、良いと思った作品の番号をコメント欄に書いていただきます。最終的に一番多く番号が集まった方が最優秀賞となります。SNS上各部門またはがき上、それぞれの最優秀賞に輝いた方々には、オリジナル図書カードをプレゼントします。(24)

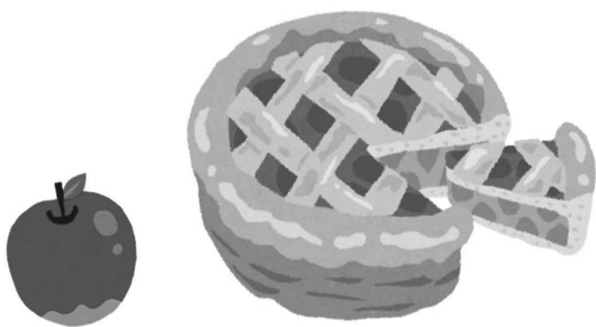


25

図書カードの例がこちらになります。これは短歌・川柳部門で最優秀賞を取った方へのプレゼントのサンプルになります。このようにイラスト部門だったらその方のイラストを、ムービー部門だったらムービー中のベストシーンを選び図書カードにします。そしてこの図書カードを作成するにあたり、費用が必要となります。(25)

Bake Sale

26



そこで私たちは資金を集めるために、私たちの学校でアップルパイを焼いてベイクセールを行います。何故アップルパイなのかというと、さきほどの発表で説明があったように、全国的に有名な青森県の特産品、りんごを使用したいという思いがあったからです。販売する際、アップルパイを入れる袋にSNSコンテストのお知らせをつけ、コンテストの開催を拡散します。SNSにアップルパイの写真を投稿する際には、青森県の魅力発信コンテストというハッシュタグを付けていただくよう呼びかけます。

(26)

ご清聴ありがとうございました

～よりよい青森県を目指して～

27

SNS以外での拡散方法として、私たちはポスターを作成し、全国の青森県産ショップに掲示していただくよう交渉します。青森県産ショップの例として、青森県にある青森北彩館新青森駅店、東京都にある青森県特産品センター、福岡県にあるみちのく夢プラザなどがあります。このような青

森県産ショップに掲示してもらえば、青森県に興味をもってお店を訪れた人にSNSコンテストの存在を知ってもらうことができ、コンテストの参加者の増加にもつながります。

また、このコンテストを他の高校生の人たちといっしょに企画することができれば、より継続的に大きな規模で青森県の魅力が発信できると思いませんか。

今回は私たちが主体となってSNSコンテストの資金集めから開催までを行います。次は県内の別の高校主体でこのコンテストを行っていただくことで、より青森県の魅力を発信できると思います。このコンテストをたくさんの高校の生徒の人と協力して開催することで、大きな団体にできたらいいなと思います。そして私たちのこの活動を通して、幅広い世代の方々に青森のさまざまな魅力を伝えることができればいいなと思います。(27)

【質 疑】

●伊吹 信一議員（公明・健政会）

（伊吹議員）

今日は素晴らしい発表をしていただきまして感謝申し上げます。また、八戸からわざわざ青森県庁までおいでいただいたことの歓迎を申し上げたいと思います。

それでは私の方から2点に渡ってお尋ねをしたいというふうに思います。今回、皆さんには「青森を見つめ直す」というテーマのもとで課題を掘り下げていただきました。さまざまな課題があるかと思いますが、そうした中で農業のことで取り上げた理由と伺いますか、その辺について伺いをさせていただきたいと思います。

（回答）

私たちの学校では総合学習の時間を利用して、全員でグループに分かれて青森県の現状や魅力、課題を調べて発表する機会がありました。私たちのグループでは身の回りにたくさん田畑があることから、農業は青森県を見つめ直すうえでかかせないテーマだなと思い、農業について深く調べることにしました。

（伊吹議員）

よく分かりました。ありがとうございます。

それでは次に、青森県は皆様がグループワークの中でもお調べいただいたように、さまざまな全国に誇る魅力というものに満ち溢れていると思います。この青森県の魅力を全国の方々にどのように発信をしていけばいいのか、その点についてももう少しお話をいただければ幸いです。

（回答）

私たちがSNS上でコンテストを開催する際、まず校内の生徒に呼びかけ参加してもらいます。そして、私たちがそのSNS上を通し全国の同世代の高校生にもこのコンテストの存在を知ってもらうことで、全国の高校生に魅力を発信できると考えています。

（伊吹議員）

大変参考になりました。さきほどのパワーポイントの中で、それぞれ応募された方の作品をイラストや様々な場面を図書カードとして出すという、非常に斬新な、今まで実は県議会の中で一度も話題として出たことはありませんでした。今後は県政の議会の中でこうした点についても、県知事にも提案をさせていただきたいというふうに感じました。

これからも是非、自分たちが生まれ育ったこの青森県をもっともっと知っていただいて、この誇るべき青森県をどうか皆さんの手で全国の高校生の方々、更にはネットワークを築いていただいて、世界の方々に発信をしていただくことを期待して、私からの質問を終わりたいと思います。

(榊引議員)

発表ありがとうございます。大変いいご意見を聞かせていただいてありがとうございます。

さきほどご説明にもありましたが、この農業就業者の高齢化によって就農人口が減少していくことに対して、さまざまなことを考えて提案していただいたとっておりますが、この提案を実現するためにどういった課題があるか、そして行政、議会にどのような支援を求めようとしているのかをお伺いしたいと思います。

(回答)

この3つの提案を実現するにあたって、財政面での問題や人手の確保などたくさんあると思うのですが、まずはじめに私たちが一番お願いしたい支援は、広報を発行していただくことです。私たちの3つの提案を実現させるためには、多くの方のさまざまなかたちでの協力が必要です。そのためにはこれらの提案を実現させたいということを知っていただく必要があると思っております。私たちもSNSなどを利用して情報を拡散していく予定ですが、年齢層に偏りが起きると考えられます。なので、強い影響力のある広報の力を借りて、幅広い年代の方々にこれらの活動をしたいということを知っていただきたいと思っております。

(榊引議員)

そうですね。せっかくの提案を理解してもらうためには、やっぱり幅広くお知らせすることが大事じゃないかなというふうに思いますので、私どももその点について、もう一度支援の仕方を考えていきたいというふうに思います。

次に青森県の魅力発信コンテストですけれども、私自身も聞いていて10個魅力の説明できるかといえば、自信がありません。突然にこう言われても中々思いつかなかったりするのが今の現状であるというふうに思っておりますが、このコンテストについて効果的に事業を行うために、より多くの人に参加していただき、この青森県の魅力を発信していただくことが必要と考えていますけれども、多くの方に参加していただくための具体的な方策についてお伺いをいたします。

(回答)

私たちはこの活動が実現することができたら、まず私たちの学校の生徒にこの活動に参加していただくと思っております。この活動が終わった後、次の機会があれば、私たちの学校とは別の学校に参加していただき、その高校の生徒の皆さんにも知ってもらい、その生徒の周りの人にもこの活動を知ってもらうことで、より多くの人に活動や青森県の魅力を知ってもらうようにしたいと思っております。

(榊引議員)

大変重要なことであると思っておりますし、私たちもそれを願っております。そういった高校生の方々の活動が農業に対しても、青森県の魅力に対してもまたこれから更に見直しをしていただけるんじゃないかと思っております。今一度、青森県の課題を更にまた分析をして新たな魅力を見つけることはとても大事であるというふうに思っておりますし、高校生の皆さんの視点が私たちにもまた大きな影響を与えているというふうに思っております。いろんな場所でいろいろなかたちでどうぞ発信をしていただきたいと思います。ご期待をしております。